

|      |          |
|------|----------|
| 総事業費 | 9,121 千円 |
| 交付金額 | 6,841 千円 |

## 地域の実情と課題

R2国勢調査

### 【福井県の現状】

|          |             |
|----------|-------------|
| 女性の就業率   | 55.6%(全国2位) |
| 女性の正規雇用率 | 54.6%(全国6位) |
| 共働き率     | 61.2%(全国1位) |

### 【福井県の課題】

コロナ禍で家庭における女性の負担・不満が高まり、日々の生活において不安や不満を抱える女性が増加している

## 目的・目標

### 【目的】

新型コロナウイルスの感染拡大により、悩みを抱え込んでしまっている女性や経済的に困窮する女性の孤独・孤立を防ぐ

### 【目標】

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ピアサポートサロンへの参加人数 | 300人    |
| ピアサポートサロンの開催数   | 96回     |
| ピアサポーター数        | 10団体・個人 |

## 事業の特徴

- ・ピアサポートサロンの実施
- ・ふくい女性活躍支援センター出張相談の実施
- ・生理用品の配布

## 連携団体

(公財)ふくい女性財団

## 事業の効果

ピアサポートサロンの参加者アンケートでは、「参加したあとの気持ちの変化」について、59%の人が「前向きな気持ちになった」と回答しており、女性の負担や悩みの解消に繋がっている。

### 【実績】

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ピアサポートサロンへの参加人数 | 431人    |
| ピアサポートサロンの開催数   | 116回    |
| ピアサポーター数        | 12団体・個人 |

## 今後の課題

- ・誰にも相談できずにいる女性の不安や悩みに寄り添うことができるサロンのテーマを設定する
- ・特定のテーマを設定しないことで、様々な悩みを抱える女性の居場所を提供し、支援を強化する

### ふくい女性つながりサポート事業

#### ○ピアサポートサロンの実施

- ・孤独を感じる女性が親しみを感じ、悩みを打ち明けやすくなるような空間をつくり、不安を抱えた女性の居場所として提供
- ・知見のある専門家等をファシリテーターとすることで、相談者に寄り添った支援ができる体制を整える
- ・コロナ禍においてもサロンが実施できるよう、オンライン設備も整備し、他人と直接会わなくとも悩みを共有

(実績)

ピアサポートサロンの参加人数 431人

ピアサポートサロンの開催数 116回

ピアサポーターの数 12団体・個人

「前向きな気持ちになった」「悩みや不安を参加者と共有でき安心した」といった意見が多く、女性の不安や悩みの解消につながった



#### ○ふくい女性活躍支援センターによる出張相談の実施

- ・遠方の地域にサテライト窓口を設置するなど、アウトリーチ型の支援に拡充
- ・就職相談、職業紹介、キャリア相談、保育所、子育て相談等に対応

#### ○生理用品の提供

- ・ピアサポートサロン開催場所である「ふくいウイメンズ・オアシス」にて提供
- ・窓口、館内のトイレ、ホームページ等に設置されている「配布カード」を提示した女性に対し、紙袋に入れるなど中身がわからないよう配慮しながら、1人1セットを窓口の職員が対応して提供
- ・各相談窓口(DV、性被害、自殺等)の案内を紙袋に同封し、身近な窓口で支援を受けられる情報や相談につながるよう努めた

【配布場所】・生活学習館2階 ふくいウイメンズ・オアシス(ピアサポートサロン開催場所)

・ふくい女性活躍支援センターの出張相談会場(嶺北1か所、嶺南2か所)

新型コロナウイルス感染症の影響により  
生理用品が購入できず悩んでいる女性のみなさま

